

無料相談

◇弁護士相談
11月7日(金)午後1時半〜
◇社労士相談 } 支部まで
◇法人設立相談 } お問合せ
◇税務記帳相談 } 下さい
※いずれも支部へ電話で予約してください。

村山大和

発行者
東京土建一般労働組合
村山大和支部
武蔵村山市中央3-7-1
電話 042(563)3261
発行責任者 白倉 良道

東京土建村山大和支部ホームページ <http://www.murayamayamoto.jp> 東京土建 村山大和支部



▲竹樋を囲む参加者

月間後半戦へ向けて 中間決起イベント開催

9月28日(日)、厚生文化部主催、中間決起イベント『あの夏をもう一度…』が支部にて開催され、70名が参加しました。

当日は好天にも恵まれ、朝早くから要員の方々が集まり、準備・設営。本イベント来上がり、職人仕事の早さには感心しきり。

準備が整い、亀澤執行委員長のあいさつで会はスタートし、アヒルのおもちやを流す「流水式」では、いくつも流れてくるおもちやのアヒルに参加者みんなが大爆笑。その後そうめん

が流れ始めると、皆が竹樋を囲み、真剣なまなざしでそうめんをすくっていました。またそうめん以外にもトマトやリンゴが流れ、なかなか箸で掴めず、「取るの難しいな」と会場は笑顔に包まれました。

流しそうめん以外にも、新潟県魚沼のソウルフードの生モツ焼き、新潟産コシヒカリの新米、フランクフルト、綿あめ、ポップコーン、ピザ、アルコール各種など、たくさんのお食べ物の数々に参加者は舌鼓を打つ催しとなりました。

中間決起には各分会からの持ち寄りもあり、当日9件の成果が上がりました。

また、本部小坂厚生文化部長、共済会より山岸書記を招き共済クイズが行われ、クイズを通して共済制度を学びました。

食べて、飲んで、学び、月間後半戦に向けての景気づけとなる大充実の中間決起イベントとなりました。

朝露

10月4日、自民党の総裁選が行われ高市早苗氏が自民党の総裁となった。高市氏は自民党内でも保守派の議員と知られ、今後、靖国参拜問題、外国人政策など外交問題が心配される。また経済政策では物価高対策として、ガソリン等の暫定税率廃止や、給付付き税額控除などを打ち出している。しかし、哀しいかな、少数与党。連立する他の政党の意向を立てないといけないため、スムーズに政策が進むかは不明である。▼過去選挙前の公約では魅力的な政策を並べるが、当選後はその公約を破り続けることが常態化している。こんなことをしているのは、誰がなっても国民本意の政治に転換は出来ないだろう。▼食料品の値上げなど今月に入っても物価高は深刻だ。請求・要求運動を続け、私たちの生活に寄り添った政治を自分たちで掴み取らなければならない。

(A・K)

防災フェス

9月20日(土)、イオンモールむさし村山にて「防災フェス2025」が開催され、村山大和支部もブースを出店。「たいけん・たいかんして学ぼう」のテーマに則し、倒壊家屋からの救助体験、クレーン車の展示、木工教室、住宅相談など体験できるコーナーや、綿あめ・ポップコーンの販売などを行いました。

当日は昼過ぎから雨が降り始め、天候には恵まれませんでしたが、多数の子供で木工教室は賑わいを見せ、ポップコーンも完売するなど、多くの来場者が訪れました。また本イベントには東京土建のマスコットキャラクター「どけん太郎」も来訪。一般の来場者と丸太切り体験をしたり、会場内を練り歩き東京土建のPR活動を行いました。

昨年引き続き、各分会、チームNAMAZU、仕事対策部、まちづくりセンターのメンバーが準備・運営・片付けを行い、無事にイベント終了となりました。



9月の労災事故件数

村山大和支部における労災事故件数は、職人2件、一人親方1件でした。

災害状況	●転落・墜落…1件	●その他…1件
	●激突…1件	

労災事故には保険証が使用できません。未加入者に声をかけ、労災保険の加入を呼びかけましょう!

帳簿記帳
学習会の開催

独立して一人親方になった仲間や帳簿の記帳に不安がある方! 必見!

□日時
10月29日(水)
19時30分〜

□会場
村山大和支部
会館3階



大和東 安東 みのり (塗装事務)

私の青春

No.363

私は青春時代を山梨県富士北麓の街で過ごしました。標高800メートルに位置し、街全体が富士山のすそ野の為、斜面の地形です。自転車通学は皆無でした。ひたすら徒歩で往復6キロの通学でした。

他の県の人には、「富士山が雄大で素晴らしい所ですね。」とよく言われましたが、さほど恩恵を感じることはありませんでした。

模擬試験の会場が水たまりの横、立川、国分寺と車窓の景色を眺めながら、"せめてこの辺りに家が"あったらどれほど便利だろう。"と強烈に感じたことを覚えています。

不思議なことに多摩地区が終の住処となりました。私の青春時代の思い出が叶った現在なのだと思います。

さて、今となるとインバウンドの外国人たちが非常に好む場所となつた不便な田舎は、また違った意味で素晴らしい場所であつたと思う今です。

故郷の今昔



『行動日に合わせ、学習会』
10月2日、大緑分会では月間行動日に合わせた、分会独自の「個人事業向け帳簿記帳学習会」を開催しました。東書記が講師となり行われた学習会では、詳細な資料をもとに進められ、質疑応答の際には参加者から多くの質問が飛び交うなど盛り上がりを見せました。また分会でメリット集を作成するなど、他分会も参考になる取り組みが多くありました。

【進藤 藤男】



大緑

真剣な表情で講義を聴く参加者たち



教育部取材

各分会の取り組み

9月・10月の「仲間を増やす月間」の行動日にあわせて各分会の様子を教宣部が取材してきました。



『たくさん動いて、行動！』

9月21日、えがしな分会は日曜行動を実施。参加者は分会から4名と書記1名。男性、女性に分かれて行動し、男性陣は村山団地でポスティングの後、対象者や若い組合員宅を訪問。あいにく本人には会えず、家族の方にバス旅行や今後の支部イベントの案内を伝え、女性陣も組合員宅を訪問し、奥さんへの女性の会加入をお願いしました。

【尾崎 実千代】



えがしな

訪問行動前に作戦会議

『組合活動は楽しむこと』

取材日当日は中間決起として大勢の皆さんが集まっていました。参加者の皆様が現状のお仕事の情報交換をしたり、散歩がてらに地域の現場を見て回る方の報告など、それぞれができる「仲間を増やす月間」への取り組みが印象的でした。

【高橋 久美子】



大和東

それぞれの仕事の状況を報告し合う

『みんなで新役員を』

取材日までに、拡大目標5名に対して4名達成と、勢いに乗る野山北分会。

新しく分会の女性の会会長となった福島さんが行動日に初参加。役員さんたちがみんなで組合は何をするところか、制度、メリットなどを、懇切丁寧に説明をしていました。

【進藤 藤男】



野山北

新役員さんへ説明をする岡村分会長

『組合は頼れるところ』

分会目標5人に対し、支部出陣式の際に2人の成果を持ち寄った大和南分会。分会での出陣式もレクのBQを絡め、幅広い世代の人が集まりました。

無事BQを終えた分会長は「レクの企画、準備、運営は本当に大変だが、月間を通して組合は困った時に頼れるところだと、周知していきたい」と語り、分会の更なるビッグウェーブを感じさせる出陣式となりました。

【白倉 良道】



大和南

BQ兼出陣式で分会目標達成へ

『組合メリットを再確認』

10月2日、この日は書記1名を含む計12名が参加し、群長さんたちにメリット集の説明をし、理解してもらった取り組みをしていました。

【尾崎 実千代】



なごみ

メリット集を改めて学ぶ

『焦らずじっくり』

大和湖畔分会では渡辺書記長を中心に情報交換。対象者4名と対話中との目標達成に近づく報告で、一同笑顔がこぼれる場面も。拡大で心がけていることを加藤組織部長に聞くと「普段から何気なくサラッと声掛けをして、拡大だからと力まず焦らず、自然体かつマイペースで取り組む」と答えました。

【木澤 清子】



大和湖畔

今後の見通しを話し合う